

「一級水系宮川水系 大谷川」の砂防事業が完成しました



土砂災害から県民の皆さんの命と暮らしを守るため、度会郡大紀町大内山地内の大谷川(おおたにがわ)において、平成29年度から整備を進めていた砂防えん堤工が令和7年6月18日に完成しました。

事業が完成したことにより、約4,900 m^3 (ダンプトラック約890台分)の土砂や流木の流出が抑えられ、下流の人家8戸、JR紀勢本線、町道等への被害を軽減できます。

事業概要

事業箇所

度会郡大紀町大内山地内



事業内容

砂防えん堤工(不透過型)
高さ13.0m
長さ 82.0m

事業期間(9年間)

平成29年度から
令和7年度まで



事業効果



砂防えん堤の完成により
下流の人家等へ土砂流出が抑えられます。



砂防えん堤施設効果

$V=4,900\text{m}^3$
(ダンプトラック約890台分を補足します。)

事業効果(保全対象)

人家 $N=8$ 戸
JR紀勢本線
町道 $L=580\text{m}$